

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、財政の揚げ要因が多かったことに加え、積みの最終週であったことから、やや底堅い展開での推移となった。大手行から断続的に0.065%ビッドが入ったことで、それが下支えとなり、地銀・信託業態も同様の水準でのビッドが入っていた。16日からは新しい積み期間に入ったことで、それなりの調達意欲が見られた。週間の無担保コールO/N加重平均レートは0.065~0.067%で推移。ターム物は大手行からの調達が散見された。固定金利方式の共通担保資金供給オペは週間に3本、それぞれ3M物でオフアーされ、全て札割れとなった。その中で特に注目を集めたものは、14日にオフアーされた、昨年実施された1年物オペの期日がスタート日となるオペで、結果は期落ち分2兆12億円に対し1兆2,095億円の落札となり、まずまずの応札が見られた。

今週は19日に3M発行超過要因と5Y発行要因、22日に20Y発行要因があり、両日とも大幅な資金不足日となることが見込まれる。また、23日はTB2Mが発行中止となったことで、大幅な余剰日となることが見込まれる。20・21日には日銀政策決定会合が開催される。

2. オープン市場

先週の短国市場は、先々週からの需給好転の流れを引き継ぐ一週間となった。12日には短国買入オペが20,000億円実施され、オフアー額が前回オペ比5,000億円の減額となったものの、平均利回較差±0.000%、按分利回較差-0.002%と市場実勢水準の落ち着いた結果となった。海外からの買いなども見られたことで、品薄感の強まりから、週半ばには3M物が0.032%まで買い進まれる等、やや過熱感の強い展開となった。15日に実施された3M物入札は、WI取引において0.035~0.036%と強めの出会いが見られたが、結果は平均落札利回0.0369%、最高落札利回0.0401%。慎重な応札姿勢から、足切水準が0.040%台に乗る結果となった。この水準での買いは限定的で、0.041%の出会いが見られるなど、やや小甘い展開。16日には1Y物の入札が実施され、WI取引で強めの出会いが見られたこともあり、落札結果は平均落札利回0.035%、按分落札利回0.038%と事前予想通りの結果となった。

先週のCP市場は、週間償還総額7,000億円程度(入札ベース)に対し、鉄鋼・電機・金融・ノンバンク業態からのまとまった発行案件が見られ、週間発行総額は8,600億円程度まで膨らんだ。一方で、法人税や配当に絡んだ発行増加は見られず、発行案件は同一の銘柄が多く見られた。発行残高が積み上がっている一部の銘柄ではレートが高止まる場面も見られたが、CP等買入オペが低位で落ち着いているため、全体的には金利低下圧力がかかる展開が続いた。発行レートはa-1格で0.08~0.09%、a-1格で0.085~0.095%となっている。

今週の短国市場は、22日に3M物の入札が実施される。引続きオペや足元金利の動向次第となることが予想される。また、20日入札予定であったTB2Mは発行中止となっている。CP市場は19日にCP等買入オペ4,000億円が予定されており、対象銘柄次第では落札利回の低下も予想される。月の後半に突入し発行残高も徐々に膨らむものと思われるが、発行レートは横ばい圏での推移が予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,400億円程度の発行超見通し。財政資金は、19日のTB3M発行超過・5Y発行、22日の20Y発行を中心に4兆9,400億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で5兆800億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。＜19日＞TB3M;償還38,000億円・発行57,000億円／5Y;発行27,000億円 ＜20日＞TB1Y;償還16,300億円・発行25,000億円／エネルギー対策借入;期日4,000億円・新規4,000億円＜21日＞交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円＜22日＞20Y;発行12,000億円＜23日＞TB2M;償還25,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オ ペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
5/19 (月)	1,600	△ 53,400	△ 51,800	全店共通(固) CP買入	△ 1,300 △ 300	2,400	800	△ 51,000
5/20 (火)	0	△ 11,000	△ 11,000	社債買入 国債買入		1,000 6,700	7,700	△ 3,300
5/21 (水)	0	2,000	2,000	CP買入		4,000	4,000	6,000
5/22 (木)	△ 2,000	△ 13,000	△ 15,000				0	△ 15,000
5/23 (金)	△ 1,000	26,000	25,000				0	25,000
週 間 合 計	△ 1,400	△ 49,400	△ 50,800		△ 1,600	14,100	12,500	△ 38,300

(注) 上表の5/19は日銀予想、5/20以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
5/19 (月)	3月の機械受注統計 (内閣府 8:50)		
5/20 (火)	3月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00) 日銀政策委・金融政策決定会合 (1日目 14:00~)	20Y 12,000億円 5/22発行	TB2M 発行中止
5/21 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合 (2日目 9:00~) 4月の貿易統計 (財務省 8:50) 日銀総裁定例会見 (15:30)		4月の英消費者物価指数 ECB定例理事会 (金融政策発表なし)
5/22 (木)	金融経済月報 (日銀 14:00)	TB3M 57,000億円 5/26発行	流動性供給 4,000億円 5/26発行
5/23 (金)	月例経済報告 (内閣府)		4月の米中古住宅販売 1-3月期の英GDP改定値 4月の米新築一戸建て販売件数

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第526号 日本証券業協会加入